様式第５号（教育実習実施計画に関する書類）

教　育　実　習　等　実　施　計　画
1　教育実習等の内容及び成績評価等
①　教育実習等の時期 ＜教育実習＞4 年次 5 月～9 月の間
②　教育実習等の実習期間・総時間数 ＜教育実習＞高等学校 2 週間（60 時間）
③　実習校の確保の方法 ＜教育実習＞教育委員会を通じて依頼（自治体によっては直接実習先に依頼）し、内諾を得る。 また、併設の附属高等学校にも依頼し、内諾を得る。
④　実習内容 ＜教育実習＞学校や学級の経営、教育課程、学習指導、道徳教育及び特別活動、生徒指導、学校の保健と安全、学校図書館、ICT 教育、人権教育、特別支援教育、教材研究、授業観察、指導案の作成、授業並びに研究授業、事務的な業務などを体験・実習する。また、日々の記録を作成し、配属校の教員に指導を受け、実習終了後は大学の指導教員に記録と報告書を提出して、指導を受ける。
⑤　実習生に対する指導の方法 ＜教育実習＞日々の実習について、実習生からの質問や相談に指導教員が電話・メールで指導助言する。また、実習期間中に指導教員が訪問し、授業参観や指導助言を行う。
⑥　教育実習の成績評価（評価の基準及び方法） ＜教育実習＞教育実習成績票（別途添付）50 点と、実習記録等をもとに大学の評価 50 点の合計 100 点で評価
2　事前及び事後の指導の内容等
①　時期及び時間数 ＜教育実習＞高等学校教育実習の事前指導　　：3 年次 9 月～1 月（45 時間） 高等学校教育実習の事前事後指導：4 年次 4 月～12 月（45 時間）
②　内容（具体的な指導項目） ＜教育実習＞教育実習の意義を理解し、教育実習を行う上で必要となる基礎的・予備的な知識や技能の習得を目指すと共に、発表やグループディスカッション、模擬授業、ロールプレイなど具体的な活動を通して実践的指導力の基礎を養う。実習後は振り返りを行いつつ、教職への認識を確かなものとする。

3　教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

①　大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

・　委員会等の名称：学校教育センター委員会

・　委員会等の構成員（役職・人数など）：

センター長 1 人、副センター長 3 人、常任委員 5 人、学校教育センター委員 14 人（教職課程をおく学部・学科から 9 人、特任教授 4 人、専任教員 1 人）、教職支援課長 1 人　　合計 24 人

・　委員会等の運営方法：

委員会開催日…毎月 1～2 回、水曜 3 限

審議内容…教育実習、参加実習、介護等体験の実施計画に関すること

実習校、教育委員会、校園長会との連絡交渉に関すること

教育実習履修判定及び成績評価に関すること

【委員会の組織図】別途添付のとおり

②　大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

＜教育実習＞

・　委員会等の名称：学校教育センター常任委員会

・　委員会等の構成員（役職・人数など）：

センター長 1 人、副センター長 3 人、常任委員 5 人、教職支援課長 1 人　　合計 10 人

・　委員会等の運営方法：

委員会開催日…毎月 1～2 回、水曜 3 限　年間 13 回以上開催する。

【委員会の組織図】別途添付のとおり

4　教育実習の受講資格

1．実習の前年度末までに、「教育実習事前指導（中高）」1 単位と「情報科指導法Ⅰ・Ⅱ」4 単位を含んで、指導法と教育の基礎的理解に関する科目等を 20 単位以上修得済みであること

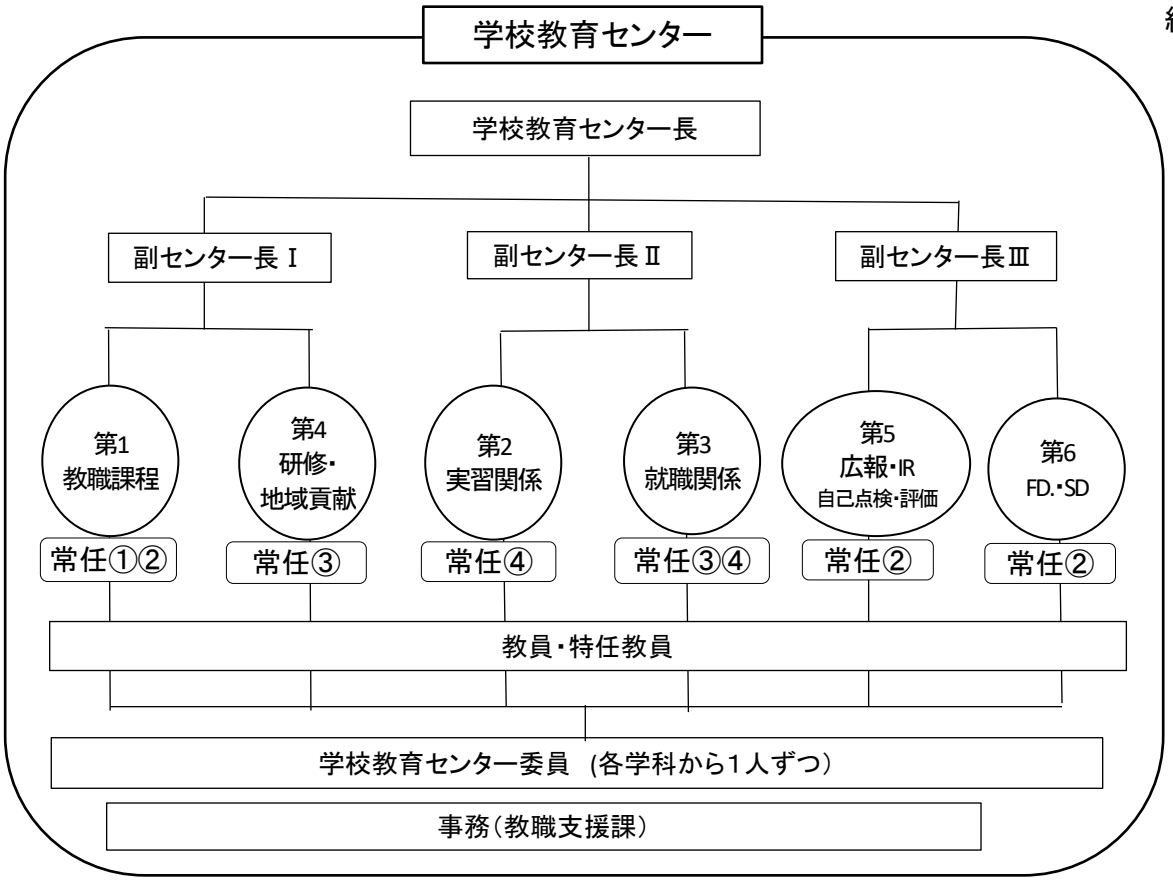
2．実習の前年度末までに、教科に関する専門的事項の科目を 20 単位以上含んで、学科の基礎・専門教育科目を 75 単位以上修得済みであること

3．上記に加え、事前ガイダンス出席者に対して、委員会で審議して受講を許可する

5　実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	高等学校 68 学級	
○	×	学校名	武庫川女子大学附属高等学校（兵庫県西宮市枝川町 4-16） 学級数：高 21 学級、　生徒数：高 769 人	
		教員数	62 人　　（内訳）教諭 45 人、 助教諭 7 人、 講師 9 人、 養護教諭 1 人、 養護助教諭 0 人、 栄養教諭 0 人	
○	×	教育委員会名	西宮市教育委員会	高等学校：2 校　（学級数：47 学級）

組織図



学校教育センター常任委員会

月に1～2回の水曜
（年間13回以上）

構成員⇒A （計10人）

学校教育センター委員会

月に1～2回の水曜
（年間13回以上）

構成員⇒A＋B （計24人）

業務内容

センター長	・学校教育センター全体の総括・企画運営 ・学校教育センター常任委員会・学校教育センター委員会の掌握 ・上層部・学科・各委員会との連絡調整
副センター長	・センター長補佐 ・担当セクターの統括・企画運営 ・学校教育センター常任委員会の進行 ・学校教育センター委員会の進行 ・学校教育センター常任委員会の連絡調整及び助言 ・関係機関（実習先・就職先・研修先・地域・教育委員会など）への渉外
常任委員	・担当セクター業務運営のための企画・立案・実施 ・関係学科・機関との調整・連絡 ・対外的事業（実習・就職・研修・地域など）に伴う依頼やガイダンス等 ・学校教育センター委員会への提案・企画作成
学校教育センター委員	・教免・保育士資格取得のための履修指導・判定・調査、学科との連絡調整 ・教職・保育士課程オリエンテーション ・学外実習引率配当 ・教採指導 ・編入・所属変更生の資格判定及び履修指導 ・[研修][地域貢献][広報・IR]事業に伴う連携と協力、学科との連絡調整

学校教育センター構成員

	役職	
A	センター長	
A	副センター長	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
A	常任委員	①～④
A	常任（特任教授）	
A	教職支援課課長	
B	学校教育センター委員	日文
B		英文
B		教育
B		健康
B		環境
B		食物
B		情報
B		音楽
B		健生薬
B		特任・他/専任5人
	教員	特任/非常勤2人
	教職支援課事務	専任6・非常勤2人

㊙

教育実習成績通知票

中学・高校用

（武庫川女子大学
武庫川女子大学短期大学部）

実習校名	学校長氏名	㊞	指導教員氏名	㊞

実習生 学籍番号	実習生 所属	実習生 氏名	実習教科	学年学級
	学科 年　組　番			

右欄に総合評価点（50点満点）をご記入ください。評価目安は下記のとおりです 50～45点：よく努力し、実習の実をあげることができた　44～35点：努力し、実習の成果はあった 34～30点：いま少しの努力と実習の成果が望まれる　29点～：努力に欠け、実習の成果は認められなかった	総合評価 ／50点

	評価項目	評価の着眼点	観点別評価
学習指導	教材研究	○教科書や教材を十分に検討して、指導内容を正確に把握しているか。 ○教材と指導目標との関連、及び生徒の生活現実や発達段階との関連がよく研究されているか。	5 4 3 2 1 最も優れている　著しく努力を要する
	学習指導の計画と準備	○学習指導案は綿密で、よく整理して立案されているか。 ○指導のねらいは明確で、しっかり把握されているか。 ○必要な教材・教具・資料を準備し、活用しようとしているか。	5 4 3 2 1
	学習指導の展開	○導入や展開のすすめ方は、活気があり、効果的であるか。 ○指導の方法や形態、板書に工夫がみられるか。 ○言語・音声・指導態度は好ましく、適切であるか。	5 4 3 2 1
	生徒の理解と配慮	○生徒を個人的にも、集団的にもしっかりとらえ、よく理解して指導しようとしているか。 ○また、生徒の心理状態や反応に即して、学習をすすめようとしているか。	5 4 3 2 1
学級経営	教科外活動の指導	○学級（ホームルーム）の諸行事・諸活動に積極的に参加しているか。 ○生徒をよく理解・把握し、適切に指導しているか。	5 4 3 2 1
	教室の環境整備	○教室内の整理や美化によく気を配っているか。 ○衛生面や安全面によく配慮しているか。 ○帳簿や記録物の保管・事務処理の能力があるか。	5 4 3 2 1
実習態度	勤務態度	○教育に対する熱意と課題意識をもち、常に工夫、改善しようとする研究的な姿勢がみられるか。	5 4 3 2 1
	実習意欲	○学校の規則や指導教員の指示をよく守っているか。 ○自らすすんで、指導教員の指導を求め、礼儀正しく協調的であるか。 ○教職に対する自覚を深め、積極的意欲的に責任感をもって、誠実に実行しているか。	5 4 3 2 1
	教育への意欲	○ものごとを謙虚に受けとめ、勤務態度は誠実、実直であるか。	5 4 3 2 1
	実習の記録と反省	○几帳面に実習記録をとり、よくまとめているか。 ○課題意識をもち、研究的姿勢がみられるか。 ○指導の評価・反省は適正で、常に謙虚に見つめているか。	5 4 3 2 1

出席状況	出席すべき日数	欠席日数		遅刻	人物所見（性格・態度についての特記事項）
	日	病欠	日	回	
	出席した日数	その他	日	早退	
	日	計	日	回	

実習終了後３週間以内に、同封の返信用封筒でご返送くださいますようお願いいたします。

実習受入承諾書

令和 4年 1月 18日

武庫川女子大学

学長　瀬口　和義　様

西宮市教育委員会
教育長　重松司郎

教員免許状授与の所要資格を得させるための課程認定の上は、当市の高等学校において教育実習を受け入れることは差し支えありません。

実習校の現況

以下について、令和３年５月１日現在でご記入ください。

記入日　　令和　　４年　　１月　　１４日

教育委員会名　西宮市教育委員会

所在地住所　　兵庫県西宮市六湛寺町１０－３

電話番号　　０７９８－３５－３８５７

（実習校数・学級数の内訳）

・高等学校数　　２校

学級数　　４７学級

以上

実習受入承諾書

令和 4 年 1 月 17 日

武 庫 川 女 子 大 学

学長　瀬口　和義　様

武庫川女子大学附属中学校高等学校

校長　　藤森　陽子

教員免許状授与の所要資格を得させるための課程認定の上は、本校において教育実習を受け入れることは差し支えありません。

実習校の現況

以下について、令和３年５月１日現在でご記入ください。

記入日　　令和　４　　年　１　　月　１７　日

学校名　　武庫川女子大学附属中学校高等学校

所在地住所　　兵庫県西宮市枝川町４番１６号

電話番号　　０７９８－４７－６４３６

（学級数・生徒数・教員数の内訳・実習受入可能人数）

・高等学校学級数　　２１　　学級

生徒数　　７６９　　人

教員数　　６２　　人

教員数内訳　　(教諭４５人)、(助教諭７人)、(講師９人)、
(養護教諭１人)、(養護助教諭０人)、(栄養教諭０人)

実習受入可能人数　　３　　人

以上